

Media release

May 28, 2021

究極のオープントップ・エクスペリエンスをもたらすロードスター、 極めてエクスクルーシブな McLaren Elva に、ウィンドスクリーンバー ジョンが登場

ラグジュアリー・スーパーカーメーカーのマクラーレン・オートモーティブは、間もなく、Elva ロードスターのウィンドスクリーンバージョンの生産を開始します。

最もエクスクルーシブなマクラーレンのひとつとなるこのウィンドスクリーンバージョンは、アクティブ・エア・マネージメント・システム (AAMS) が作り出す空気の壁より、物理的なスクリーンをお好みのお客様のご要望にお応えすると共に、米国の一部の州の法令を満たすために設計されました。その全貌が、プロトタイプカーの写真と共に初めて明らかになりました。

「超軽量で極めてパワフルな Elva は、ドライバーに路面や自然との究極の一体感をもたらします。ドライビングの純粋な喜びを謳歌するために生まれ、私たちがこれまでに手がけた中で最も特徴的でエクスクルーシブなモデルのひとつです。ルーフとウィンドウが存在しないこのロードスターは、マクラーレンモデルにしか成し得ない、最高に爽快なオープンエアのドライビングエクスペリエンスをオーナーの皆様にご提供します。それは、洗練された AAMS 技術が目に見えない空気の壁を作り出すスクリーンレス モデルをお選びでも、遮断性が加わったウィンドスクリーンバージョンをお選びでも、そのドライビングエクスペリエンスは変わりません」

マクラーレン・オートモーティブ CEO、マイク・フルーウィット

エアロダイナミクス性能とダイナミクス性能を最適化する、独自のエンジニアリングプログラムにより、ウィンドスクリーンバージョンの Elva には、オリジナルバージョンのエッセンスとパフォーマンスが完備されています。ルーフもサイドウィンドウもリアスクリーンもなく、そこに 1,300kg 未満*の乾燥重量と、最高出力 815PS、ミッドシップのツインターボ 4.0 リッター V8 エンジンを組み合わせることで、究極の爽快感を実現しています。

スクリーンレスの Elva はマクラーレン・オートモーティブ史上、最軽量のロードカーですが、ウィンドスクリーンバージョンの目標は、重量増加を 20kg* に抑えることです。これには、電子制御の雨滴感知式ワイパーや、ウィンドウウォッシャー、サンバイザー、そしてもちろんヒートッドガラスとそ

れを囲むカーボン・ファイバー製サラウンドを含みます。アクティブ・エア・マネージメント・システム（AAMS）は、搭載しません。

いずれのバージョンも、加速力は McLaren Senna に匹敵します。スクリーンレス モデルでは、静止状態からわずか 2.8 秒*で 100km/h に達し、0-200km/h 加速は 6.8 秒*です。ウィンドスクリーンは完全な固定式で、風雨からドライバーおよびパッセンジャーを守り、動的性能や車体剛性、そして刺激的なドライビングエクスペリエンスもスクリーンレス モデルと変わりません。

Elva はマクラーレンのヘリテージを現在そして未来と結びつける究極のモデルです。その車名とスタイルは、1960 年代のレーシングカー、McLaren-Elva を彷彿とさせ、それは、ブルース・マクラーレンと彼が創設した会社にて初期に設計され、レースを戦ったマシンでした。現代の Elva は、そうしたマシンが象徴する、ドライビングの喜びやスピリットをかき立てるために生まれたのです。

Elva は、ブルース・マクラーレンの伝説的レーシングカーへのオマージュとして誕生しただけに、オーナーの心を捉えているのが「ヘリテージ・リバリー」で、写真のサテン・カーサ・ブルーをまとったウィンドスクリーンモデルのプロトタイプもそのひとつです。マクラーレン・スペシャル・オペレーションズ（MSO）による、こうしたビスポーク・カスタマイゼーションのリクエストは多く、特にエクスクルーシブな Elva においては、ひときわドラマチックでユニークなマシンが次々生み出されています。Elva は、限定 149 台のみのカスタマーオーダーです。

ウィンドスクリーン Elva の最初のデリバリーは、マクラーレン・スペシャル・オペレーションズによるパーソナライゼーションのあと、今年末からスタートします。

* ウィンドスクリーン Elva の完全な技術諸元や性能値は最終評価待ち

マクラーレン・オートモーティブについて

マクラーレン・オートモーティブは、ラグジュアリーで高性能なスーパーカーを開発している企業です。車両はすべて、イギリスのサリー州ウォーキングにあるマクラーレン プロダクション センター（MPC）において、手作業で組み立てられています。2010 年に設立されたマクラーレン・オートモーティブは、マクラーレン・グループの主要企業として展開されるようになりました。GT、スーパーカー、モータースポーツ、アルティメットモデルの同社製品ポートフォリオは、世界 40 の市場で 85 を超える小売業者を通じて販売されています。

マクラーレンは、常に限界を押し広げ続けるパイオニアです。1981 年には、軽量で強力なカーボンファイバー製シャシーをマクラーレン MP4/1 で F1 に導入しました。その後 1993 年に、マクラーレン F1

ロードカーを設計・製造。以来、カーボンファイバーシャシーを用いない車は製造していません。アルティメットシリーズの一環として、マクラーレンは世界で初めて、ハイブリッドスーパーカー（マクラーレン P1™）を誕生させました。2016年には、新しいハイブリッドスーパーカー GT を発表し、2018年には次のアルティメットカーがスピードテールとなることを発表しました。2019年、マクラーレンは 600LT スパイダー、新型 GT、サーキット専用のマクラーレン セナ GTR を発表しました。また、620R とマクラーレン エルバも発表、翌年には 765LT を発売しています。最近では、新型高性能ハイブリッドスーパーカーのマクラーレン アルトゥーラを発表しました。アルトゥーラは、マクラーレン・カーボン・ライトウェイト・アーキテクチャー（MCLA）を享受する最初のマクラーレンの車です。MCLA は、世界初の手法を用いて、英国シェフィールド地域のマクラーレン・コンポジット・テクノロジー・センターで設計、開発、製造され、ブランドの輝く未来をけん引することになります。

また、マクラーレン・オートモーティブは、それぞれの分野での境界も押し広げ、世界のリーディングカンパニーと協力しています。そうした企業にはアクゾノーベル、アシャースト、デル・テクノロジーズ、ガルフ、ピレリ、リシャル・ミル、トゥミなどが含まれます。

マクラーレン・グループについて：

マクラーレン・グループは、ラグジュアリーなオートモーティブとテクノロジーにおける世界的リーダーであり、マクラーレン・オートモーティブ、マクラーレン・レーシングおよびマクラーレン・アプライドという 3 つのビジネスで構成されています。

オフィシャル ウェブサイト : <https://cars.mclaren.com/jp-ja>

オフィシャル フェイスブック : <https://www.facebook.com/mclarenautomotivejpn/>

オフィシャル インスタグラム : <https://www.instagram.com/mclarenautojapan/>

マクラーレン・オートモーティブ アジア 日本支社 オフィシャル ユーチューブ :
[こちらをクリックください](#)

マクラーレン・オートモーティブ広報事務局

担当：小川 / 山内（コスモ・コミュニケーションズ / コミュニオン）

Phone: 03-5468-5278 / Email: jp.press@mclaren.com

根岸 美穂子（マクラーレン・オートモーティブ）

Phone: 03-6675-4313 / Email: mihoko.negishi@mclaren.com



ashurst



RICHARD MILLE

